

いつの世も国益の最大の基本は安全保障であり、治安の維持であり、そうして経済力である。

葛西敬之(JR東海社長)

國の支之

(中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会 (略称・関防会)

〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心斎橋太陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 高橋季義
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第18号

(春季号)

平成16年4月1日(木)

(皇紀2664年)

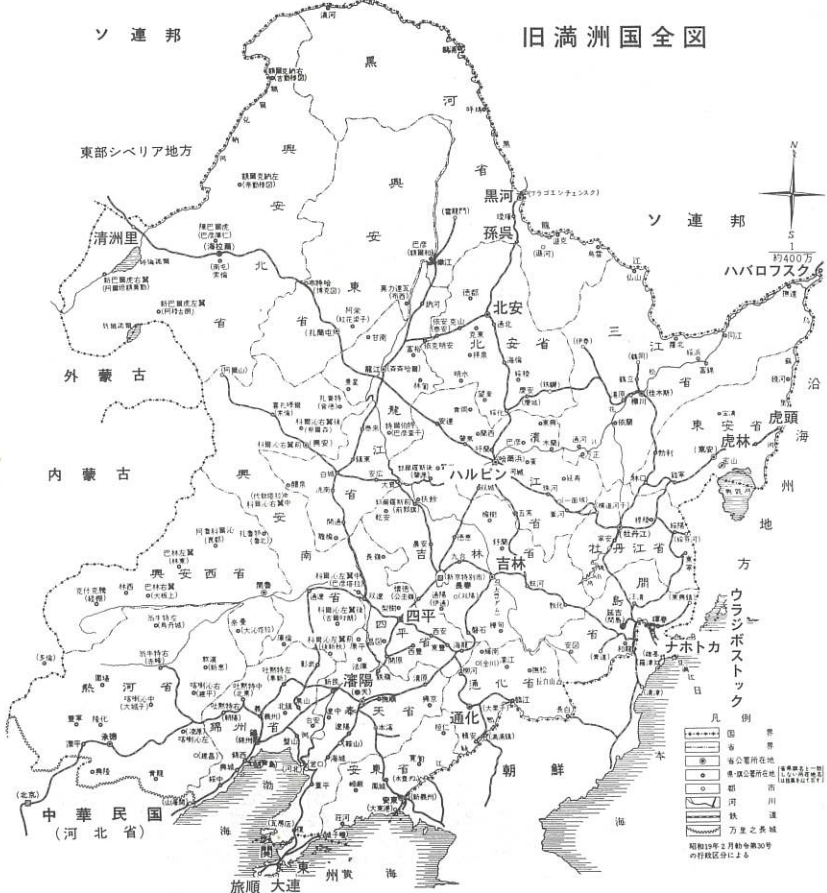
(大正紀元93年)

(昭和紀元79年)

昭和史発掘 座談会

関東軍とシベリア抑留

瀬島龍三中佐(陸士四四期)と草地貞吾大佐(陸士三九期)の処世



出席者 (発言者)

山本 明
元陸軍少佐(陸士53期)
シベリア抑留11年
高橋季義
小会会長(海兵75期)
奥村 直
昭和史研究家

中島 元
奉天2中・2年生で終戦
春木 旭
宇山会事務局長
(草地貞吾大佐を慕う会)
.....
司会 新川貞敏(編集人)

山本：技術的な事は置いて、解読作業に関して私は日本人の悪い癖という欠点を痛切に感じましたね。小生が通信簿を隠して、こっそりと見る行為、あれですね。皆、個人プレーなんです。情報戦は個人プレーでは限

奥村：「諸君」に載ってましたね。山本：そう、案外、日本もやっていた、と書いていますがね、よく調べています。六十期の、まだ終戦の時は卒業もしていない高橋昭という人が階級社の「階行」に「暗号戦」と題して発表していますが、それもよく研究調査されていると思います。

中島：アメリカの外交官も案外だらしないですね、日本と一緒だね。山本：技術的な事は置いて、解読作業に関して私は日本人の悪い癖という欠点を痛切に感じましたね。小生が通信簿を隠して、こっそりと見る行為、あれですね。皆、個人プレーなんです。情報戦は個人プレーでは限

奥村：「諸君」に載ってましたね。山本：そう、案外、日本もやっていた、と書いていますがね、よく調べています。六十期の、まだ終戦の時は卒業もしていない高橋昭という人が階級社の「階行」に「暗号戦」と題して発表していますが、それもよく研究調査されていると思います。

中島：アメリカの外交官も案外だらしないですね、日本と一緒だね。山本：技術的な事は置いて、解読作業に関して私は日本人の悪い癖という欠点を痛切に感じましたね。小生が通信簿を隠して、こっそりと見る行為、あれですね。皆、個人プレーなんです。情報戦は個人プレーでは限

奥村：「諸君」に載ってましたね。山本：そう、案外、日本もやっていた、と書いていますがね、よく調べています。六十期の、まだ終戦の時は卒業もしていない高橋昭という人が階級社の「階行」に「暗号戦」と題して発表していますが、それもよく研究調査されていると思います。

中島：アメリカの外交官も案外だらしないですね、日本と一緒だね。山本：技術的な事は置いて、解読作業に関して私は日本人の悪い癖という欠点を痛切に感じましたね。小生が通信簿を隠して、こっそりと見る行為、あれですね。皆、個人プレーなんです。情報戦は個人プレーでは限

奥村：「諸君」に載ってましたね。山本：そう、案外、日本もやっていた、と書いていますがね、よく調べています。六十期の、まだ終戦の時は卒業もしていない高橋昭という人が階級社の「階行」に「暗号戦」と題して発表していますが、それもよく研究調査されていると思います。

中島：アメリカの外交官も案外だらしないですね、日本と一緒だね。山本：技術的な事は置いて、解読作業に関して私は日本人の悪い癖という欠点を痛切に感じましたね。小生が通信簿を隠して、こっそりと見る行為、あれですね。皆、個人プレーなんです。情報戦は個人プレーでは限

奥村：「諸君」に載ってましたね。山本：そう、案外、日本もやっていた、と書いていますがね、よく調べています。六十期の、まだ終戦の時は卒業もしていない高橋昭という人が階級社の「階行」に「暗号戦」と題して発表していますが、それもよく研究調査されていると思います。

中島：アメリカの外交官も案外だらしないですね、日本と一緒だね。山本：技術的な事は置いて、解読作業に関して私は日本人の悪い癖という欠点を痛切に感じましたね。小生が通信簿を隠して、こっそりと見る行為、あれですね。皆、個人プレーなんです。情報戦は個人プレーでは限

奥村：「諸君」に載ってましたね。山本：そう、案外、日本もやっていた、と書いていますがね、よく調べています。六十期の、まだ終戦の時は卒業もしていない高橋昭という人が階級社の「階行」に「暗号戦」と題して発表していますが、それもよく研究調査されていると思います。

定時総会と講演会

二 案 内

- ・期 日 平成16年4月24日(土)
- ・会 場 大阪東洋ホテル ☎06-6372-8181
- ・総 演 題 午後4時30分～5時20分
午後5時30分～6時50分
『国軍への脱皮を願う』
- ・講 師 松島悠佐氏 (防衛大学5期)
元陸上自衛隊中部方面總監 (御聴講をお待ちしています)
- ・懇親会 午後7時～8時30分
- ・会 費 壹万円(当日受付)



懇親会 午後7時～8時30分
会 費 壹万円(当日受付)

松島悠佐(まつしま・ゆうすけ)氏 元陸上自衛隊中部方面總監。防衛大学卒業後、自衛隊入隊。陸上幕僚幹部・防衛部長、第8師団長(熊本)等の要職を経て、平成7年中部方面總監で退官。著書に「阪神大震災・自衛隊かく戦えり」(時事通信社刊)がある。危機管理などの講演を行う。

司会：山本さんの略歴をお聞かせください。
山本：私は大正八年三月生まれで、陸軍士官学校の五三期の前期です。昭和十二年の四月の入校ですが、この年に支那事変が始まり、試験で落ちてしまったから後期として八月に八百人ほど入学してきました。このように例は日露戦争の時にあったようです。
奥村：ああ、陸士の十七期と十八期のようなものですね。
山本：昭和十五年の二月に卒業しました。私は同期十名ほどと高知の四十四聯隊に配属されましたが、大東亜戦争の直前ですから新設の師団があり後期の連中はそこに配属されたようです。四十四聯隊は満州の虎林・虎頭に派遣された十一師団(善通寺)の隷下です。
司会：ソ連軍が満州に侵入したとき徹底的に抗戦して全滅した虎頭の要塞はどうでしたか。
山本：私は國境守備隊に配属されたので見ていないのです。十一師団というのは上海の敵前上陸で名を馳せた部隊で昔から激戦を経験してきた師団です。青野ヶ原(兵庫県)の演習の帰りに瀬戸内海で敵前上陸の訓練しながら高知に帰ったそうです。
半年ほどで戸山学校に入校を命じられましたが、ご存じのように体育の学校ですから我々仲間では単細胞学校と言われていました。十六年の一月に原隊に帰る初めに初年兵教育を命じられわけです。ところが初年兵教育の終了を待たずに五月、突然「お前は参謀本部へ行け」と命令がでたのです。
司会：その時の階級はどうでした。
山本：少尉でした。わけが分からぬまま参謀本部に行ったら二部十八班に配属されました。よつするに無線謀報の部署ですな、ソ連、支那、英、米などの暗号解読ですわ。派遣されてきた連中は不平等タラタラですわ、昨日まで荒野を走り回っていた連中です。それが一日中、机に座って数字をやるわけですが、腹が立ってきて隊に帰してくれと言ったものです。暗号やった者は大概一回は神経衰弱になりますな、気が狂いますな。

そうして昭和十六年十一月四日、大東亜戦争開戦の一カ月前に杉山参謀総長が参謀本部の将校たちを将校集会所に集めて「米英に宣戦布告をする」との訓示があったのです。その日は興奮して寝られなかったですね。それで十二月一日ついで京城の朝鮮軍に転動ですわ。
奥村：司令官は板垣征四郎さんですね。
山本：そうですね。所属は朝鮮軍ですが、その時は中尉になっていました。着任した康徳の無線通信所で軍服を着ていたのは所長で陸士三九期の山岡武さんと私と曹長の三人だけで、後は通訳官や通信手の軍属だけの編成でした。

司会：傍受した通信は朝鮮軍で処理判断するのですか。
山本：指揮命令系統は朝鮮軍でしたが、対ソ謀報に関しては参謀本部十八班の区処を受けていました。十八班では米英の暗号解読をやっており、(暗号)教育を受けている時も常に解読電文を見ましたね。
当初は解読は無く、謀略で神戸のアメリカ領事館に忍び込み解読書を盗撮したものでしょう。館員が大阪のパイに出かけた空を狙い、留守番の(日本人の)小使さんに憲兵が引導を渡してね。その前は上海で乱数表を盗撮した、と聞いています。最近になって神戸大学の菅原俊洋助教授が米英暗号の解読について研究論文を発表していますね。
奥村：「諸君」に載ってましたね。
山本：そう、案外、日本もやっていた、と書いていますがね、よく調べています。六十期の、まだ終戦の時は卒業もしていない高橋昭という人が階級社の「階行」に「暗号戦」と題して発表していますが、それもよく研究調査されていると思います。

中島：アメリカの外交官も案外だらしないですね、日本と一緒だね。山本：技術的な事は置いて、解読作業に関して私は日本人の悪い癖という欠点を痛切に感じましたね。小生が通信簿を隠して、こっそりと見る行為、あれですね。皆、個人プレーなんです。情報戦は個人プレーでは限

ソ連軍侵攻の徴候あり

司会…山本さんは開戦時は朝鮮軍だったのですか。
 山本…昭和十七年、朝鮮の特殊情報部が関東軍の隷下に入るんです。
 奥村…そうですね、昭和十七年に関東軍が総軍になり朝鮮軍が編入されたんですね。
 山本…十九年の三月に大尉になって満州の孫呉の通信所の所長に赴任したんです。
 ところが関東軍が南方に転用されて、密かに満州を出て行くんです。私の通信所も第一線では危ない、と言ふ事でハルビンに退る事になったんです。二十年の八月五日でした。
 司会…その時分、ソ連軍侵攻の徴候はありましたか。
 山本…ありました。六月頃です、(ソ連の)黒龍江艦隊の艦艇の無線を傍受しているところ、これの指令部はハバロフスクにありましたが、ハイルでも被河でも同じ電文を傍受しているんです。この傍受した電文を新京の本部に送り、そこから参謀本部に行くんです。当時は空界状況が悪く各通信所の傍受電文は酷く乱れていて、ヤットなんとか判読できる内容で「暗号で」開戦時×××を発信する」というような内容なんです。あまりにも乱れた電文なので本部へは注意のチェックもせずに他の電文と一緒に送ったもんです。

自衛隊を激励せよ

司会…その時、山本さんの階級は。
 山本…六月に少佐になってました。一番若い少佐でね、古い期の連中に恨まれましたよ。
 司会…ソ連侵攻時、山本さんはどうされてました。
 山本…孫呉の通信所からハルビンに出張して大和ホテルに泊まっていたんです。八月八日は夜中から大雨でね。
 司会…ソ連侵攻は八日ではなかったですか。
 奥村…九日の午前零時です。奥村…それね、急いで孫呉に帰るつもりなんです。列車が無いのです。捜していたら北安までの列車があったんです。北満の交通の要衝です。北安の手前の河が濁流で列車が通れないので、枕木を歩いて渡り北安に入りました。
 山本…洪水の北安に入ると在満邦人が「頼みますよ」と手を振ってくれたのが強く印象に残り「よし、やったるぞ」と気持ちが揚がってききました。
 奥村…それでね、自衛隊がイラクへ行くんですよ、その傍らで反対なんて叫んでいては意気はあがりませぬ。



写真前列左より、山田大将、後宮大将、清水中将、塩沢中将、佐藤軍医少将、4列左より3人目、草地大佐。含む関東軍首脳(イワノボ収容所にて、昭和30年6月1日) (春木旭氏提供)

民族性の違い・ドイツ人

山本…それでね、行ったところは流刑地で有名な陸の孤島ですよ。住民はアジア系でヤッコさん達は露助よりは好意的でした。
 見習士官も入れた一万人の中で、中学から大学までの学歴がありながら楽器を使える者が少なかった。その点、ドイツ人は十名いたら十名が楽器を作ったりして演奏したり歌っていた。
 奥村…ドイツ人もいたのですか。
 山本…そう、ドイツ人は日独同盟の意識があったのか、日本人には比較的好意的でした。露助を見下していた。ノルマなども要領よくサボルと言つたのか、一メートルの穴をほつたら、その土を一メートルくらいに広げて、三メートル掘つたように見せかけていた。そんなサボタージュの方法を教えてくださいましたよ。
 奥村…そこは二四年の夏まで居て、急に移動させられました。その編成は尉官の班と佐官の班に分けられ、佐官も

抑留十一年間始まる

山本…そこ云つて、終戦になって武装解除を受けた訳ですよ、部隊ごと。それで、半月ほど経つて労働大隊ですね、千名単位でソ連の方に連れていかれるんです。
 山本…この前、航空自衛隊がイラクに行ったでしょう、政府専用機で。あの姿を見ておつてね、自分が武装解除したのでコキ使われましたよ。
 列車に乗る段になったらまた選別されて、私は別の列車に乗せられてね。何日か経つてハバロフスクに着いた時に、連結器のガチャーンと言ふ音がして我々の乗った二両ほどが切り離されて別の方に走り出した。結局これが運命の分かれ道で、向こうの列車の者は日本に帰ってしまつたんです。

民主化運動の洗礼を受ける

奥村…またハバロフスクに戻ったんですね。
 山本…そう、今度は雰囲気は全く違っていました。残された我々が入られたラゲリは、いわゆる民主化運動だね。そこには二百人から三百人位いたかな、そこに我々六十人ほどの一団が加わつたんです。
 奥村…佐官クラスですか。
 山本…いや、尉官もつた。そのラゲリの委員長は完全に洗脳されていて、下士官・兵を使つてね、連日、二

を受けた時を思い出してね、なきけなね、出征風景とは言えぬ。
 司会…完全武装で征け、と言つたわけですか。
 山本…まあ、そうだな。九月の初め頃かな、僕が長となつた労働大隊が孫呉を出る時に、少佐以上は師団司令部に集められてね、僕は少佐になつていたので、そこで僕は部隊とは別れたんです。
 集められた隊長など二十名ほどの佐官はトラックに乗せられてね、僕の部隊の兵隊が歩いてる傍らを走つてね。黒河からソ連領へ入つたんです。
 司会…それが抑留十一年間の始まりですか。
 山本…うん。それでハバロフスクで入れられたラゲリの隣は将官ラゲリや、関東軍司令官(山田乙三)大将・三一年六月帰国)や、溥儀(満州国皇帝)もおるわけや。それらの参謀や副官が僕らのラゲリにおるわけや。そこで初めて会つたのが瀬島さんや、草地さん。だから関東軍の中核が皆集められておるわけや。
 奥村…それで、開戦の時の状況など話をしていて、瀬島さんは頭がええなと、思ったよ。数字なんか皆覚えていて、スラスラと出して喋っていたよ。こっちは新米の若い少佐だから感心して聞いたもんだよ。
 瀬島さんはよく居らんようになったが、取り調べやつたと思つた。ソ連のほうに名前の知れた関東軍司令部の人達が出たり入ったりしていた。取り調べやな。
 ハバロフスクに二か月くらい居つて、何日間か列車に乗せられて連れていかれたのがタール共和国のエランブカや。
 司会…何月ごろですか。
 山本…四時間の吊上げです。そこには私の旧部下が二名いたが、民主化運動に精をだしていてね。しかし、誰も居なくなると「隊長、ここではいい加減にしておかんといけません」と言つた。
 会長…存じですか、労働組合と言つたり同和の吊上げと一緒に、私は生きては帰れない、と思つたんです。
 高橋…リンチみたいなんですよ、あの頃、私もよく聞きましたよ。
 山本…そして夏になると監獄の大部屋に入れられて、驚いたことに露助のヤクザが居て賈禄があつてね、大親分と言つたか、ロシアでは清水の次郎長のように有名な男らしいです。監獄に差入れがありますと、皆、その親分のところに持つて行くんです。すると親分は自分が必要な物を取つて、あとは皆に分けるんです。我々日本人には差入れはありませんから「ヤボンスキー来い」と言つてね、お堀分けをくれるんです。有り難かつたね。
 山本…ある時、私は四十度近い熱を出してね個室に移さ

桃山御陵と乃木神社参拝のご案内

関西防衛を支える会

世界史の流れを変えた日露戦争。その開戦100周年を記念して明治先人のご苦労をしのび明治天皇の御陵と、その側に建立された乃木神社を参拝したくご案内します。
 乃木神社には、敵将スッテセルとの会見に使用された満州は水師營の土壁の民屋が移築されています。それは背の低い馬小屋と見紛う貧弱な物です。展示されている品物は往時を忍ぶ貴重品であり、2度、3度と拝見して飽きる事はありません。ぜひ、この際、ご参拝され100年前を考慮して下さるようお願いいたします。

期 日…5月29日(土)
 集合場所…京阪電車・伏見桃山駅改札口
 時 間…午前10:30
 昼 食…参拝後、費用2000円くらいで懇親会を予定しています。
 申し込み…関西防衛を支える会・事務局
 切 断…5月20日(木) TEL、FAX、ハガキで

山本…寒い時や、二月の末かな。抑留生活が始まつた訳や。そこには将校ばかり一万名ほど集められていたが、僕は山本でしよう、山本姓だけで百人ほどおつた。
 高橋…高橋です、今日はご苦労さんです、別の会合があったもんですから遅れました。
 山本…あれですが、熱は下がらず「俺もこれで終わりか」と覚悟をしました。
 その最中に突然、目の前が明るくなり、絶対に生きて帰らねば、と思つたら不思議に熱が下がってきました。
 奥村…信念です。
 山本…露助の取調べは実に巧妙でした。何日も目を空けて同じ事を聞かれると前にしゃべつた事は忘れまふね、その矛盾を突いてきたり、熟睡中に突然、連行され、ローソクの灯だけの薄暗い細長い取調室で机の上にピストルが置いてあつてね、そらあ金玉が縮みあがりまふな。
 司会…瀬島さんや草地さんはどうでしたか。
 山本…露助の取調べに対して二通りの対応があつて、一つは露助に徹底的に対抗する者、もう一つは「仕方がない」と生きて帰るために聞き直る者、その受け答えも積極的じゃあべる者と、問われた事だけを答える者に大別されます。
 司会…通訳つきですか。

山本…そう、私の通訳は汚い大阪弁を使うロシア人でした。草地さんは徹底的に対抗するタイプだった、私はとても出来なかった。草地さんは立派でしたね、あんな人はめったにおらんね。

司会…瀬島さんはどうですか。

山本…瀬島さんは大本営に居たせいもあるか、問われた事は全部しゃべっていたよ。瀬島さん、朝枝さん(朝枝警中佐・四五期)はモスクワで取調べを受けていた、瀬島さんは東京裁判にも出ている。東京裁判ではやはり、ソ連側に都合の良いように言う奴を選んで、これは向こうの最近出された機密文書に書いてあるよ。

朝枝さんは樺太経由で昭和二十四年ごろの早い時期に帰国している。この樺太経由が疑わしいところだね。この問題では私の兄貴が朝枝さんと同期でね「そんならお前、朝枝と対決せよ、朝枝に話しをしろ」と言っていましたからね。彼は何回もモスクワに引張って行かれました、その人が瀬島さんの事を批判するのはおかしいよ。彼がモスクワで何をしゃべり、特別に樺太から帰って来たかだよ。朝枝さんは、それをしゃべりたくないよ。注：朝枝中佐は捕虜の身でソ連領内を自由に歩いて、ソ連軍のジープを乗り回したりしてソ連の賓客として遇されていた、と言った証言がある。

奥村…朝枝さんは樺太経由でしたか。

山本…私のかつての部下が言っていたが「ソ連のために動く、裏切ったらどんな仕打ちを受けてもかまいません」と、一筆書いて帰国した、と言っていました。

司会…その人は何年ごろの帰国ですか。

山本…二三年ごろの帰国です。ソ連にどうして朝枝さんは、おそろく優等生であったと思う、この点で彼と対決しても良いと考えていたのです。情報関係、憲兵、警察などの関係で早い時期に帰国した者は、皆、一筆書いていますよ。

司会…朝枝さんは帰国して、すぐにGHQに出頭して、免許符を得たと言っていますね。

山本…そう云っていますね、しかしね、向こうで何を云っているかです、ソ連にとって優等生ですよ。

天皇陛下の写真を踏む？

司会…瀬島さんが天皇陛下の写真を踏んだという、敷衍社長(松本良諄氏・大正八年生)の証言を仄聞して、さすが踏絵の件はどつですか。

山本…それは知らんね。しかし草地さんなら、絶対に踏まんね、そういう人だな。

奥村…早く帰った人達は、天皇島上陸と言って帰国してましたね。

中島…そうでしたな、天皇島上陸と言って帰国してました。奥村…一般の兵士の方は民衆の中に溶け込んでしまいましたが、朝枝さんのように佐官級の人は紐付きだっ

たんです。

奥村…佐々木大佐(克巳・三八期)ですかね、(シベリアから帰国後)自殺された、谷寿夫中将(南京事件の戦犯として虐殺された)の娘さんの旦那さん。とても耐えられない、と言って自殺されましたね。

山本…ああ、嗚呼、祈る事件ですかね。

(注：零下三十度の寒さ、民主化運動に不熱心だと云って、屋外の木に一昼夜縛り付け同胞を凍死させた)この悲惨な事件…朝方には祈るように凍死している事から嗚呼と祈ると付けられた…の首謀者はシベリア時代の報復を恨んで転々と流浪し、ルンペンとなり大阪釜ヶ崎に潜伏中に死亡との新聞報道が四十年ころあった。

奥村…いや、その事件ではありません。佐々木大佐は五年にソ連が、「これで日本人の送還は終わった」と発表したが、結局、ソ連との間で板挟みになって自殺されたんではないか。あの当時、魂を売った幻の兵団(ソ連のスパイに仕立てられた人の総称)と言った二五年ごろに有名になったんですね。(注：佐々木夫人は、父は戦犯で処刑され、いま主人を失った、と慟哭された。)

それまで何人の人間がソ連に抑留されているのか、日本側では解らなかった。ソ連側の発表を信じるしか無かったのが、最近では五十万人死んだのではないかと、言う話が出ていますね。日本のように戸籍制度がしっかりしている国で、(抑留者の正確な調査もされずに)あいまに済まされていくことが不思議でならないのです。

瀬島氏と草地氏の葛藤

山本…瀬島さんはおとなしい性格でね。草地さんは野武士のようなサムライに徹していたね。瀬島さんは妥協、調和で世情に長けて世渡りがうまいタイプ、そこが草地さんと違つところだね。草地さんは辻参謀(政信・三六期)に近い、と思ふ。

それと瀬島さんは身体が弱かったのにシベリアでよく生のびたと思う。それはね、下士官や若い将校がよく面倒をみて守つたのだと思ふ。シベリアで左官をしていたと言つね。

奥村…そう云っています

山本…労働の中では比較的楽な仕事を瀬島さんに回して、若い者が面倒を見ていたよ。草地さんはどうですか。

山本…草地さんは帰国してから北斗会というグループを作つてね、瀬島さんと全く性格違いますね、表面上はお互い仲よく振る舞っていたが、腹の中は違つていた筈だ。

高橋…辻さんは行方不明でしょう。あの人は毀誉褒貶の激しい人でしたね。

山本…実はね、辻さんの墓はね、野崎観音(大阪府)にあるんです。これは奥さんの実家のお寺でね。ラオスに出る前にこのお寺に寄つてね、墓石を頼んだらしいです。

奥村…抑留中の瀬島さんはどうですか。

中島…抑留中から帰るまでの六年間と最初のハバロフスクの時も一緒でしたから。ただね、有名な昭和三十年のハバロフスク事件、これは瀬島さんも著書に書いていますが、あれは「年寄り作業に出すな」というポイコツトが発端ですよ。

それまでは千何百名が居たラゲリから三十年の暮れには草地さんと私たちが百名ほど、少し離れた小さなラゲリに注意人物として隔離された後の事です。当時、その事件は露助から聞きました。確かに三月十日と思つた瀬島さんはラゲリに残つて居た。

(注：反ソ的な扱いにくい人達を分離した後の、従順と思われる人達に対する強制労働の強要であり、日ソ交渉妥結の見通しが膠着状態の時に発生した事件である)

山本…この時にね、浅原(正基・二五年の判決)と言つたシベリア民主化運動の親玉が居てね、子が二十名ほどいたかな、浅原は東大時代から赤であつたらしい。彼はねハルビンの特務機関の衛兵に立った、と言つてやられた。

中島…それが何故、十一年間、抑留されたんですかね。

山本…袴田一派との民主化運動の勢力争いに負けてね、残されたよ。それでね、浅原は瀬島さんらと同じ船で帰る途中に日本海に放り込まれそうになつたらしい。そこを瀬島さんが止めたそうです。(瀬島氏は八月に帰国)

中島…山本さんは、いつ帰国されたんですか。

山本…十二月二十六日に舞鶴に上陸して、一番最後だったな、草地さんも一緒に千名くらい居た。今、思うと、よつ帰れたと思う。戦後のソ連の機密文書を見ると、とても帰れる状況ではなかった。

中島…裁判はどうでしたか。

山本…軍事裁判と言つたのはね、言葉はロシア語でしょう、何を言っているのか解りませんよ。「もう、どうでもエエ、早くやってくれ、殺すなら殺せ」だったです。だから署名もやってくれですよ。

中島…何年だったんですか。

山本…罪名はね、資本主義援助で二五年でした。瀬島さんは二十年だったかな。

奥村…昭和三十年でしたか日本の国会議員が行つた事がありましたね。

山本…あの時は社会党の議員だけに面会させたね。その時、露助は病室のカーテンやシーツなどを新しくしてね、入院患者の被服まで新調し、売店や食堂には品物を沢山ならべていたが、視察が終わつたら患者の服は脱がして、売店の商品は消えてしまった。今の北鮮や中共と一緒にね表面だけ繕ひますな。(注：北村徳太郎議員を団長とする超党派議員団が訪ソ。そのうち野瀧勝氏を団

長とする左派社会党の議員だけがハバロフスク収容所を訪問できた。

満腹する朝鮮人、遊ぶ中国人

山本…抑留中に民族性の違いを痛感しましたね。日本人は真面目に働いて瘦せていて、例えば米などをポケットに入れてチョコッと盗んで来る。それを缶詰の空缶などで炊いて建物の陰に隠れて仲間に見つからないようにコンコンと食べるんですよ。

朝鮮人は米俵を五俵くらい担いで盗み、ラゲリの門を通る際、何もいわれなくても四俵置いて、一俵を堂々と持ち込み皆で分けて腹一杯食つている。門番の露助は文句をいけません。

支那人は実にずうずうしい。組織を作り、手先の器用な者、口先の達者な者など各自の特技を生かして、盗んだり、騙したりして金や物をせしめて、遊んでいる。支那人は実にやり方がうまい。

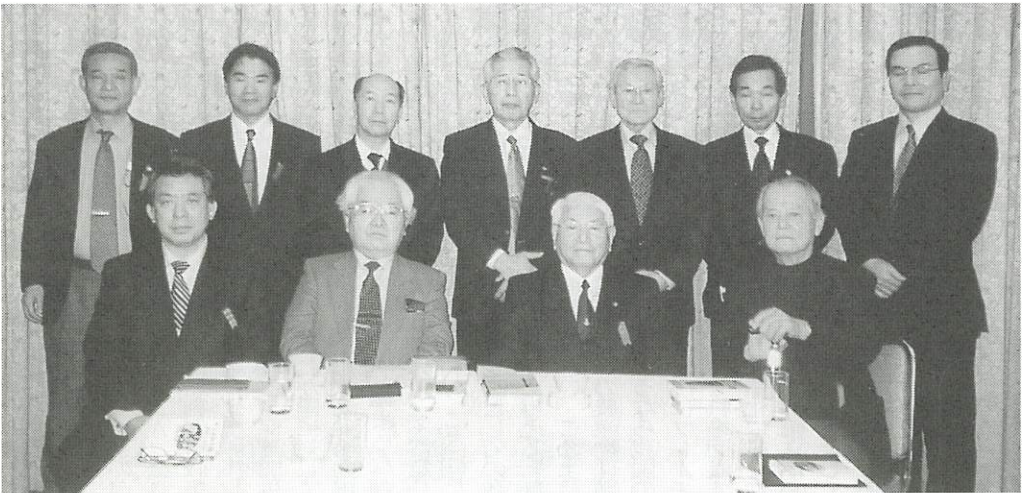
司会…それではこれで終わります。長い時間、有り難う御座いました。

春木…最後ですが、露木甚造元陸軍大尉の著書の「コピイを」を参考ください。

…高級将校の情けない姿を見せつけられて、温室育ちの軍人に愛想がつかない。これで世紀の大戦に勝利を得るなんて、どだい無理なことだと思つた。寝台に戻ると、右隣の総軍作戦参謀の瀬島中佐が「露木、貴様はなぜ民主化運動やらないのか。進んでソ連のためにやれ」と言つた。私はじつと彼の顔をにらみつけ、「瀬島、それは貴様の本心か。貴様は幼年校、土校、陸大の三校始まって以来の英才と聞いたが、この阿呆者！」と一言いって、顔を伏せてしまった。…(注：『北の国に生きて』露木甚造著。大正二年生、昭和十年甲種幹部候補生、十六年・大尉で満州へ、二五年シベリアより帰国、三八年・神奈川県開成町町長に当選。)

(文責・新川)

前後列より吉村、奥村、高橋、山本の各氏(座談会出席者)



前後列より吉村、奥村、高橋、山本の各氏(座談会出席者)

座談会 後記

ともにシベリア抑留十一年の瀬島中佐と草地大佐の生きざまは対照的である。瀬島氏は二・二六事件で岡田首相の身代わりとなって殺された松尾大佐の娘婿で、大本営の作戦計画に少佐ながら六年間にわたり携わり、陰の参謀長と評された。帰

り、中曾根権権誕生に奔走し、国鉄改革などに腕を振るわれたことは特筆される。

かたや、草地氏はシベリア民主化運動の標的とな

たが、瀬島氏は健在である、二両氏の評価はまだ定まらない。

それは両氏のシベリア時代の言動に左右される事ではないのではない

判される瀬島氏は、健在の間、疑惑を晴らされるべきではないか。

シベリア帰りは、赤いと云つたことで当時、企業組織の中で不遇をかこつたのも事実であり、その中で国家の中核まで入り込んだ瀬島氏に驚かせるを得ない。それゆえに、対露、対韓外交へ、また対中外交への見える後遺症があるのでは…。

新川記

学、就職免許を取得して高校や大学で青年教育に尽力された。その若い芽は今、壮年となり日本民族再生に邁進している。

草地氏は一昨年物故された。

対照的な瀬島氏・草地氏の生きざま

か、(借行社)の機関紙が掲載を拒否した加登川幸太郎氏(陸士・四二期、中佐)の「陸軍の反省」や共同通信社の「沈黙のファイル」などで批

座談会

後記

ともにシベリア抑留十一年の瀬島中佐と草地大佐の生きざまは対照的である。瀬島氏は二・二六事件で岡田首相の身代わりとなって殺された松尾大佐の娘婿で、大本営の作戦計画に少佐ながら六年間にわたり携わり、陰の参謀長と評された。帰

り、中曾根権権誕生に奔走し、国鉄改革などに腕を振るわれたことは特筆される。

かたや、草地氏はシベリア民主化運動の標的とな

戦略物資

はじめに

第二次世界大戦当時 英国は深刻な食糧危機に陥っていた。食糧の過剰を海外植民地からの輸入に頼っていた英国はドイツのUボート(潜水艦)による海上封鎖により食糧の輸入が止まっていたのである。当時の英国の食糧自給率は40%を切っていたといわれる。これは現在の我が国の自給率とほぼ同じである。

大型家庭菜園の設置を

編集人 新川 貞敏

食糧自給力(率)の向上に

ドイツの家庭菜園

ドイツの家庭菜園「クライン・ガルテン」とは一区画が千坪ほどある大きなドイツの市民農園である。廉価販売の「ユニクロ」に生鮮野菜を提供している永田農法提唱者の永田照喜治氏によれば、ドイツの農業生産量の25%がここで生産されているという。

我が国でも兵庫県の八千代町が「滞在型家庭菜園・大和クライン・ガルテン」を開業している。ここでは宿泊施設が付設された九十坪から百二十坪の農地が提供され、我が国ではめずらしい大型の家庭菜園であり、この規模なら家庭で消費する野菜は十分に賄え、かつ保存の利く玉葱やジャガイモなどは有り余る事になる。入会金、壹百七十五万円、年間使用料金四十七万五千円の設定で既に多くの人達が利用している。

高齢化社会の受皿として

団塊の世代が定年退職期を迎えるが、その老後生活を迎えるに、年金問題などで不透明である。この健康で定年を迎える人達に大型家庭菜園を提供して農業・農村の活性化に寄与して貰う事は従来の保護農業政策を転換し、国際競争力のある食糧生産力と安全な食糧の確保・提供に繋がるのではないかと。またリストラや倒産などで定年以前に離職を余儀なくされる人々の救済措置ともなり得る。

そうして野菜作りは心身の健康にも素晴らしい効果があり、定年を迎えた人々には第二の人生・収穫の喜び、本物の作物の味を知ることになる。なによりも安全な食糧を家族へ提供できる事は高齢者のこの上ない喜びとなる。

自由貿易を推進するために

昨年、メキシコとの自由貿易協定(FTA)会談が日本側の農産物保護政策によって決裂した。オレンジ、豚肉などの保護関税を主張するわが国に対して、メキシコは鉄鋼、自動車を持ち出して纏まらなかつた。得意分野と不得意分野をパッケージにされた場合、貿易立国としての我が国の産業界に与える影響は極めて大きい。このような不得意分野の農産物保護政策が続くようなら我が国の工業製品の輸出にブレーキがかかる。それを回避するためには自由化に動かない

農業(酪農)の確立が必要となる。その一環として、大型家庭菜園は貢献するだろう。(メキシコとのFTAは三月中旬合意した。前述の永田氏は「世界中で多少高くてもおいしくて安全な野菜のニーズは増え導る」。

国家百年の大計として、遊休農地を国家が買い上げ定期借地権方式で国民に廉価で貸し出す。最長で五十年間の定期借地権設定は、その地域住民と都市住民との間に新しい形の民族紐帯感を生み出すのではないかと。貸出し期間も短期、中期、長期と設定して、その管理運営などは自治体・農協などに委託し、初年度は農協教室などで指導する。

社会保険制度改革とリンクさせよ。国家百年の大計として、遊休農地を国家が買い上げ定期借地権方式で国民に廉価で貸し出す。最長で五十年間の定期借地権設定は、その地域住民と都市住民との間に新しい形の民族紐帯感を生み出すのではないかと。貸出し期間も短期、中期、長期と設定して、その管理運営などは自治体・農協などに委託し、初年度は農協教室などで指導する。

我が国は味噌と醤油で二千年生きてきた。世界に冠たる発酵食品文化をもつ我が民族に、この基礎食糧の確保の大切さを知らしめ、スローフードへの回帰を願う。食の原点に帰ろう、というイタリヤが発祥の運動がある。これは伝統的な食材を伝統的な調理方法によって摂取しようとする運動である。地元で生産された食材を地元で消費する「地産地消運動」にも適う。

我が国は味噌と醤油で二千年生きてきた。世界に冠たる発酵食品文化をもつ我が民族に、この基礎食糧の確保の大切さを知らしめ、スローフードへの回帰を願う。食の原点に帰ろう、というイタリヤが発祥の運動がある。これは伝統的な食材を伝統的な調理方法によって摂取しようとする運動である。地元で生産された食材を地元で消費する「地産地消運動」にも適う。

我が国でも兵庫県の八千代町が「滞在型家庭菜園・大和クライン・ガルテン」を開業している。ここでは宿泊施設が付設された九十坪から百二十坪の農地が提供され、我が国ではめずらしい大型の家庭菜園であり、この規模なら家庭で消費する野菜は十分に賄え、かつ保存の利く玉葱やジャガイモなどは有り余る事になる。入会金、壹百七十五万円、年間使用料金四十七万五千円の設定で既に多くの人達が利用している。

我が国でも兵庫県の八千代町が「滞在型家庭菜園・大和クライン・ガルテン」を開業している。ここでは宿泊施設が付設された九十坪から百二十坪の農地が提供され、我が国ではめずらしい大型の家庭菜園であり、この規模なら家庭で消費する野菜は十分に賄え、かつ保存の利く玉葱やジャガイモなどは有り余る事になる。入会金、壹百七十五万円、年間使用料金四十七万五千円の設定で既に多くの人達が利用している。

我が国でも兵庫県の八千代町が「滞在型家庭菜園・大和クライン・ガルテン」を開業している。ここでは宿泊施設が付設された九十坪から百二十坪の農地が提供され、我が国ではめずらしい大型の家庭菜園であり、この規模なら家庭で消費する野菜は十分に賄え、かつ保存の利く玉葱やジャガイモなどは有り余る事になる。入会金、壹百七十五万円、年間使用料金四十七万五千円の設定で既に多くの人達が利用している。

我が国でも兵庫県の八千代町が「滞在型家庭菜園・大和クライン・ガルテン」を開業している。ここでは宿泊施設が付設された九十坪から百二十坪の農地が提供され、我が国ではめずらしい大型の家庭菜園であり、この規模なら家庭で消費する野菜は十分に賄え、かつ保存の利く玉葱やジャガイモなどは有り余る事になる。入会金、壹百七十五万円、年間使用料金四十七万五千円の設定で既に多くの人達が利用している。

我が国でも兵庫県の八千代町が「滞在型家庭菜園・大和クライン・ガルテン」を開業している。ここでは宿泊施設が付設された九十坪から百二十坪の農地が提供され、我が国ではめずらしい大型の家庭菜園であり、この規模なら家庭で消費する野菜は十分に賄え、かつ保存の利く玉葱やジャガイモなどは有り余る事になる。入会金、壹百七十五万円、年間使用料金四十七万五千円の設定で既に多くの人達が利用している。

ロシアの家庭菜園・ダーチャ

共産主義崩壊によるロシアは深刻なインフレによる生活難があったが、それを乗り切った影の力は「ダーチャ」と言う家庭菜園の存在だったと新聞は報じている。ダーチャとは別荘と訳すらしいが実質は山小屋のような生活場所がある家庭菜園らしい。都市部ロシアの老人は春から秋にかけてこの山小屋で生活をして農作物を作る。休日には子供や孫が手伝いに来て大自然に触れ英気を養い、老人が生産した作物を持って都市に帰る。晩秋になれば老人達は都市の子供や孫の元に呼び込んで居る。昨秋、休日前のダーチャに向かう車で混雑するモスクワ郊外が二年度版。

北の部隊を激励す

兵庫県議会議員 筒井のぶお (少年工科大学から大阪大学へ)

二月九日から十日にかけて、兵庫県議会防衛議員連盟に所属する八名の議員が旭川に視察に行きました。一部に心無い報道がありますが、良識ある兵庫県民はイラク派遣部隊を誇りに思い、そして立派な任務を果たしていることに敬意を払ってほしいと願っています。このことを伝え、激励することが最大の目的です。

旭川ではそのような可能性はないというのが旭川市役所職員の弁でしたが、今後各方面隊から派遣されていく中でそのような可能性を否定できません。兵庫県にあっては、教育現場には議会の監視の目が届かないことをよいことに、日教組の教師たちは偏向教育をしていないのです。

旭川ではそのような可能性はないというのが旭川市役所職員の弁でしたが、今後各方面隊から派遣されていく中でそのような可能性を否定できません。兵庫県にあっては、教育現場には議会の監視の目が届かないことをよいことに、日教組の教師たちは偏向教育をしていないのです。

旭川ではそのような可能性はないというのが旭川市役所職員の弁でしたが、今後各方面隊から派遣されていく中でそのような可能性を否定できません。兵庫県にあっては、教育現場には議会の監視の目が届かないことをよいことに、日教組の教師たちは偏向教育をしていないのです。

旭川ではそのような可能性はないというのが旭川市役所職員の弁でしたが、今後各方面隊から派遣されていく中でそのような可能性を否定できません。兵庫県にあっては、教育現場には議会の監視の目が届かないことをよいことに、日教組の教師たちは偏向教育をしていないのです。

旭川ではそのような可能性はないというのが旭川市役所職員の弁でしたが、今後各方面隊から派遣されていく中でそのような可能性を否定できません。兵庫県にあっては、教育現場には議会の監視の目が届かないことをよいことに、日教組の教師たちは偏向教育をしていないのです。

編集後記

昭和史発掘座談会と称して午前十時から昼食を挟んで午後四時までの五時間の録音テープからの抜粋であり、独断と偏見による編集を、諒承を願います。その中で、昭和二十年八月八日の北滿が大津だった事を初めて知った。これなどは体験者しか知らない事だ。些細なことかもしれないが、満州関係の書物を読んできた者にとって新鮮な感じがした。

その中で、昭和二十年八月八日の北滿が大津だった事を初めて知った。これなどは体験者しか知らない事だ。些細なことかもしれないが、満州関係の書物を読んできた者にとって新鮮な感じがした。

その中で、昭和二十年八月八日の北滿が大津だった事を初めて知った。これなどは体験者しか知らない事だ。些細なことかもしれないが、満州関係の書物を読んできた者にとって新鮮な感じがした。

その中で、昭和二十年八月八日の北滿が大津だった事を初めて知った。これなどは体験者しか知らない事だ。些細なことかもしれないが、満州関係の書物を読んできた者にとって新鮮な感じがした。

その中で、昭和二十年八月八日の北滿が大津だった事を初めて知った。これなどは体験者しか知らない事だ。些細なことかもしれないが、満州関係の書物を読んできた者にとって新鮮な感じがした。

自衛隊広報誌 広告掲載企業募集 株式会社若鳩 本社 千570-0032大阪府守口市南水通2-19-1 支社 千530-0015大阪府大阪市北区中崎西1-1-6

